

RIFCR(リフカー)研修のご案内

～性虐待の理解と初期対応、話の聴き取り方を学ぶ～

性虐待を受けたのではないかと思われる子どもから話を聴く事を大人はためらいがちですが、子ども達を性虐待から守るためには絶対にかかせないステップです。

性虐待の被害児を守るために彼らから何をどのように聴くべきなのか、また、児童相談所に通告後実施される司法面接で彼らに被害事実の詳細を語ってもらうためには、最初の聴き取りの際、どんな事に気をつけてもらわなければならないのかを知ってもらうのがRIFCR 研修です。米国ミネソタ州にあるCornerHouse(子どもの権利 擁護センター: Children's Advocacy Center: CAC の一つ)が開発したRIFCR はプロトコルになっているので、覚えやすく、使いやすいものです。是非ともこの機会に性虐待児の理解と対応を学習してみませんか。

～プログラム内容～

- * 子どもは性虐待をどのように経験するか
- * 虐待を打ち明けるプロセス
- * 子どもの性的発達
- * 日本の児童保護制度
- * RIFCR (リフカー)プロトコル



○日 時: ①平成28年1月30日(土)9時～18時 ②1月31日(日)9時～18時

研修期間1日です。同じ内容ですので、どちらかご都合の良い日をお選びください。時間が延長する場合などもありますので、時間に余裕を持ってお申し込みください。

○会 場: 神奈川県横浜市 関内駅 ステップサポート 他(予定)

* 場所は、参加人数で近隣に変更する可能性がありますので、折り返しご連絡いたします。

○対 象: 市区町村の要保護児童対策地域協議会関係者、小中学校の養護教諭
児童養護施設職員、児童相談所関係者、保健師、保育士、医師、看護師
その他子どもに関わる保健・福祉・医療機関関係者や学生など

○定 員: 各40名 *** 先着順 定員に達し次第締め切り、最終締切日は平成28年1月15日(必着)**

○受講料: 8000円 * 当日現金でご持参ください。

○昼 食: 各自ご持参ください。

○問い合わせ・申込方法:

希望参加日、氏名(ローマ字併記)、ご所属先名、TEL(研修会当日連絡可能な番号)

をご記入の上、下記まで**Emailもしくは郵送**にて申込み下さい。裏面参加申込書(コピー可)に必要事項を記載し(Emailの場合添付)、送付ください。後日、受付のお知らせをご返信いたします。

E-mail : kazokuhoken@cco.kanagawa-it.ac.jp

郵送先: 〒243-0203 厚木市下荻野1030 神奈川工科大学看護学部 久保・宍戸 宛

○主催: 神奈川工科大学小児看護学教室、NPO 法人子どもの虐待防止ネット・にいがた
NPO法人MCサポートセンターみつくみえ

後援: (社)子どもの虐待防止センター、NPO法人日本子どもの虐待防止民間ネットワーク

RIFCR(リフカー)研修会申込書

申込日:平成 年 月 日

受講希望日	ご所属	ふりがな(ローマ字で) *修了証発行時必要です	連絡先 (メールもしくは電話 で当日連絡可能な 連絡先)
		氏名	
<input type="checkbox"/> 1月30日(土) <input type="checkbox"/> 1月31日(日)			
<input type="checkbox"/> 1月30日(土) <input type="checkbox"/> 1月31日(日)			
<input type="checkbox"/> 1月30日(土) <input type="checkbox"/> 1月31日(日)			
<input type="checkbox"/> 1月30日(土) <input type="checkbox"/> 1月31日(日)			
<input type="checkbox"/> 1月30日(土) <input type="checkbox"/> 1月31日(日)			
<input type="checkbox"/> 1月30日(土) <input type="checkbox"/> 1月31日(日)			

申し込み代表者連絡先:

* 氏名 ()

* 受付受理状況等のご連絡先(住所もしくはE-mailアドレス)

※切:平成28年1月15日(必着)。先着順、定員に達し次第受付終了。

下記まで郵送もしくはE-mailにてお申し込みください。

受講料:8000円は、当日現金支払い。 昼食:各自ご持参ください。

(申し込み先/問い合わせ先)

〒243-0203 厚木市下荻野1030 神奈川工科大学 看護学部

担当:久保、宍戸

TEL:046-206-0262 E-mail: kazokuhoken@cco.kanagawa-it.ac.jp